

# ありがとう通信

## 呉市議会議員 岡崎源太郎



海上自衛隊出身 岡崎源太郎後援会

### 令和3年度予算

090-2805-4718

ワン切りいただくとかけ直します

<http://oka.genin.jp> →

[gentarounet@yahoo.co.jp](mailto:gentarounet@yahoo.co.jp)

[gentarounet@gmail.com](mailto:gentarounet@gmail.com)



## 鬼の心

市長は弱者を理解するために優しい心を持っていて、議員は「この質問をしただけで、市職員は困るだろう」と考えて、追求を徹底的に求め、心を鬼にして市の問題点を徹底追求し、呉市を正しい方向に導かなくてはなりません。鬼に徹します。

## 呉市が消防法違反

【質問】消防機器は半年ごと、総合点検は毎年点検が義務づけられている。3階議会ホール消火器、火災報知機の点検は令和2年5月にならなければならない。議会は火災になっても大丈夫なのか。R3.3

【答弁】検査の直前に職員の一部に新型コロナウイルス感染症の感染の疑いがあるのと判明いたしましたので、急遽、翌日に終わる予定でありました消防点検を中止した。

【提案】臨時職員を雇うか残業すればよかったのではないかと、消防法違反はよくない。そもそも298施設を4人で半年ごとに点検は物理的に無理だ。



R3.3



H18.8

小学校の凍結防止がはがれて消火栓の水がでなかったことも！

## 呉市PR動画

【質問】音戸町では、民間が音戸PR動画を制作しました。呉市で呉市PR動画コンテンツを開催してはいかがですか。

【答弁】高校生を含め

各種団体、個人の方も、これまで多種多様なテーマで呉市を題材にしてユーチューブ動画を制作しています。動画コンテンツの開催につきましても、他都市の事例を参考に研究しております。



※他市の例

## 女性職員

【質問】三次市、尾道市、福山市は女性職員のほうが多い。呉市の女性職員割合は26.3%で、14市のうち最低だ。管理職の割合は6.9%で、これも14市のうち最低で、県内の23市町のうち下から2番目だ。どう思うか。

【答弁】引き続き女性が働きやすい職場の環境であるとか女性職員の積極的な登用を進めていきたいと考えている。

【提案】女性には右脳と左脳をつなぐ脳梁が発達していて、両方の脳を同時に使える。会議に適しているし、記憶力は抜群だ、理論的に、直感的に思考することが出来る。総務課、秘書課、国際交流、議会に適している。男女の人間工学的な専門性を考慮して能力を効果的に最大限発揮できる人事計画を練るべきだ。



## 職員互助会

【質問】芸術鑑賞に助成とは何ですか。

【答弁】文化ホールなどで行われるコンサートとか、呉市立美術館などで行われる展示会チケットについて、厚生会が一部補助することにより割引しております。

【質問】芸術鑑賞に助成しているのは、広島市を除く県内13市のうち3市だけです。芸術鑑賞というのは個人寄附に近い。芸術鑑賞助成を廃止すべきではないか。

【答弁】職員には芸術鑑賞によっても英気を養っていただきたいと考えております。

以前は職員の家族旅行にも公費助成がありました。本人に対しても税金補助が疑問ですが家族は理由が付きません。



# バーチャルキャラクター

【質問】ネットで話題になっているのは、Vチューバーと言われる、画面の中だけ出るバーチャルキャラクターです。今、地方自治体もどんどん使い出しました。茨城県の茨ひよりちゃんが話題になっております。茨ひよりの登場で登録者数が一気に伸びたそうでございます。呉氏はしゃべれないので、話せるバーチャルキャラクターというのが必要なのではないでしょうか。呉氏はアナログの3Dなら、デジタルの二次元、呉市バーチャルキャラクターとして、仮称、はなちゃんをお考えいただけませんかでしょうか。

【答弁】呉氏はしゃべりませんが、様々なイベントではアテンドが呉氏を代弁し、一緒に活動しております。先日放映されました「マツコの知らない世界」では、アテンドの職員がマツコ・デラックスに好かれて話題に上っております。お尋ねのVチューバーにつきましては、2Dや3DのCGやアニメのキャラクターを使用して動画配信、投稿を行うバーチャルユーザーのことでございます。企業や自治体の活用も多くあり、PRの効果も大きいと認識しております。

バーチャルキャラクターは画面上で、市の行事などを説明します。



# ICT・RPA

【質問】RPAは、働き方改革で人間の仕事をソフトウェアロボットに代行させて業務を持続するということですが、石川県加賀市ではRPAを導入して、市職員の業務負担を軽減することで市民のサービス向上に反映させております。RPAを導入する考えがあるかお尋ねします。

【答弁】RPAの導入については、他市の事例など情報収集に努めております。本市におきましては、どの分野でRPAが導入できるかなどを研究しているところでございますが、実際導入している他市に話を聞いてみますと、ロボットが実行するプログラム、この作成にはそれなりの知識が要るといふことです。一人の担当者がかりきりになるでありますとか、ロボット作業になじむ業務の取捨選択が難しいなど、多くの課題があると感じております。今後、使いやすさ、汎用性の高いものができたら、費用対効果を見極めながら、また、呉市の顧問とも相談しながら、引き続き研究してまいりたいと考えております。

【提案】RPAというのは、プラットフォームが変わるわけじゃないんです。システムはそのままで、職員の定型業務をロボットがしましようにということなんです。会計年度任用職員を雇ってするような大作業が、RPAなら夜にセットしたら朝にはできているとか、ランチから帰ったらもう仕事ができているとか、RPAをお考えください。ICT化によって、ワンストップサービスから24時間対応のノンストップサービス、駅やコンビニからアクセスできるマルチアクセスサービスも提案します。

# A-婚活

【質問】内閣府は、人工知能AIやビッグデータを使った自治体の婚活支援に力を入れていると聞いています。AIが膨大な情報を分析して相性のよい人を提案するもので、お見合いの実施率が高まるという効果が出ており、また、来年度から自治体への補助を拡充します。システム導入を促すように、希望する人と婚活支援に参画できないのか、お尋ねします。

【答弁】紹介の仕方は、全国的な事業であったとは思いますが、これに呉市が単独で入ってしまっても、それが人口減少を食い止める一助になるかどうかと、期待するだけの効果があるかどうかです。県のほうのほうは婚活について実施をしないのところに呉市が単独でこちらに入っているとは思いません。

呉市のICT化は遠い

